

2026 年
IBTF世界フリースタイル・リズムィクトワール
選手権大会日本代表選考会東北支部予選会

競 技 規 定
審 査 規 定



※一般社団法人日本バトン協会HP等で公開される本予選に関わる
規定に変更があった場合、この規定も同様に変更する。

日本バトン協会東北支部

目 次

2026 年IBTF世界フリースタイル・リズミックトワール選手権大会 日本代表選考会東北支部予選会

フリースタイルソロ	2
フリースタイルペア	4
フリースタイルチーム	5
その他の競技規定	6
順位規定	7

フリースタイルソロ

1. フリースタイルソロ

(1) 競技規定

- ① 人数 …1 名
 - ② 使用するバトン …レギュラーバトン 1 本
 - ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m の広さを目安とする
 - ④ 曲（時間） …ジュニア 1 分 30 秒から 2 分
シニア 2 分から 2 分 30 秒の自由曲を使用
 - ⑤ 内容 …1 本のバトンを使って以下の技術を競う
- プログラム構成** 以下の組み合わせでルーティーンを構成することが望ましい
- ア) エアリアル …ジュニア 4 つ・シニア 5 つ
 - ・コンティニアス（ピュア）スピン
 - ・ステーションナリーコンプレックス
 - ・トラベリングコンプレックス
- ※上記以外に自由にジュニア 1 つ・シニア 2 つ

<推奨>

- ・総数の内 1 つは水平のものの
- ・総数の内 1 つは左右グラブ、左右キャッチ以外のノンスタンダードキャッチのもの
- ・総数の内 1 つは左右サム、左右バックハンド、左右水平トス以外のノンスタンダードトスのもの
- ・コレオグラフィック・エアリアル（振付的なエアリアル）において、実施できるメジャーボディムーブは最大 1 つまで

イ) ロール …水平とバリエーションの両方

ウ) コンタクト マテリアル …水平とバリエーションの両方

⑥ コスチューム

安全性が確保されていること

手のひらと顔を覆うようなものは不可

コスチュームの一部を身体またはコスチュームから取り外すことは不可

※IBTF 規定に準ずる。<https://www.ibtf-batontwirling.org/>

※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※選手は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

① テクニカルメリット

ア) テクニック

イ) スピード

ウ) 3 モード（エアリアル・ロール・コンタクト マテリアル）のバリエーション・ディフィカルティー

エ) ボディワークのバリエーション・ディフィカルティー

オ) ディフィカルティー

カ) クリアネス&シュアネス

② アーティスティックエクспレッション

ア) ジェネラルコンテンツ

イ) ビジュアルミュージカルティー

ウ) 空間の利用度

エ) チェンジオブペース

オ) スキルの要求度

カ) 演技の優秀さ

キ) 正確さ

ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナリズム

③ 採点・ペナルティ

- ア) 10 点法（小数第 2 位まで）で採点する
- イ) 決勝は同点なしで採点する
- ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
- エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

フリースタイルペア

1. ペア

(1) 競技規定

- ① 人数 …2 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 2 本 (各 1 本)
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m
- ④ 曲 (時間) …ジュニア 1 分 30 秒から 2 分
シニア 2 分から 2 分 30 秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容

プログラム構成

 フリースタイル演技内容をコンセプトに、エクステンジを含む
エクステンジの種類…パターン、プレーン、高さ、バトンが描く空中の絵柄、3 モード、
リリース、キャッチ、ボディワーク、使用されるバトンの数 (1 本または 2 本)、その場または移動しながらの交換。相手を見ずにあらゆる
状況に対応する順応力を表現する
- ⑥ コスチューム
安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
コスチュームの一部を身体またはコスチュームから取り外すことは不可
※IBTF 規定に準ずる。 <https://www.ibtf-batontwirling.org/>
※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員 (フロアモニター) はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。
※選手は、審判員 (フロアモニター) より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクステンジ
 - ウ) 移動しながらのバトントワーリング
 - エ) 両手使い
- ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) ペアワーク
- ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカリティ
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナリズム (リカバリー能力、ペアの責任)
- ④ 採点・ペナルティ
 - ア) 100 点法 (小数第 1 位まで) で採点する
 - イ) 決勝は同点なしで採点する
 - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
 - エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

フリースタイルチーム

1. チーム

(1) 競技規定

- ① 人数 …6 名から 8 名
- ② 使用するバトン …レギュラーバトン 6 本から 8 本 (各 1 本)
- ③ 競技フロア …縦 15m×横 28m
- ④ 曲 (時間) …3 分から 3 分 30 秒の自由曲を使用
- ⑤ 内容

プログラム構成

 フリースタイル演技とフリースタイルペア内容をコンセプトに、バトンとボディのユニゾン性、シンクロニック トワーリング、バトンとボディが一体となった変化や困難度、音楽解釈に基づくステージング・フォーメーションを表現する
- ⑥ コスチューム
安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
コスチュームの一部を身体またはコスチュームから取り外すことは不可
※IBTF 規定に準ずる。 <https://www.ibtf-batontwirling.org/>
※競技前にコスチュームのチェックを行う。審判員 (フロアモニター) はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。
※選手は、審判員 (フロアモニター) より上記指示を受けた場合速やかに訂正しなければならない。

(2) 審査規定

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクスチェンジ
 - ウ) 移動しながらのバントワーリング
 - エ) 両手使い
- ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性／トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) チームワーク
- ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナリズム (リカバリー能力、チームの責任)
※選手は、演技中に声を掛け合わないこと
- ④ 採点・ペナルティ
 - ア) 100 点法 (小数第 1 位まで) で採点する
 - イ) 決勝は同点なしで採点する
 - ウ) ドロップペナルティを加味し、総合評価で採点する
 - エ) 違反の場合、ペナルティシートにて警告するが減点はしない

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用すること。競技前にバトンのチェックを行う
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い
- (3) バトンのシャフトに貼るテープの色は黒・グレーまたは白の2色。ただしグリップテープはシャフトの長さの $\frac{1}{2}$ までとし、センターから同等に巻くこと。(1色はラッピング用、もう1色はセンターマーク用)
- (4) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい
- (5) テープやテープの類似品以外の付属品等を使用することはできない(視覚的補助及びハンドリング補助のためは可)
- (6) フリースタイルペア・フリースタイルチームは、グリップテープの色や巻き方を同一にすること
- (7) 競技フロアヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない
- (8) 怪我のための包帯等は可
- (9) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する
- (10) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する
- (11) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い。装飾(顔に模様を描く等)は禁止する

<参考>

IBTF競技におけるバトンの定義：標準的なバトンとは、クロムメッキ／銀メッキされたスチールシャフトで、錘の白いゴム球が叩打または圧入され、先端を覆ったものを指す。バトンは、サイズと重量によって様々なバランスポイントを持つ。一般的な長さは、14～32 インチ(35.5～81.5cm)で、直径は3/8 インチ(10mm)、5/16 インチ(8mm)、7/16 インチ(11mm)のいずれかである。その重さは約8 オンス(227 グラム)で、長さや直径によって決定される。

2. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、実行委員会において加除訂正を行うことができる

順位規定

1. 審査

(1) 審査員長・副審査員長

審査員長 1 名、副審査員長 2 名とし、審査の円滑な遂行を統括する

(2) 審査員・ペナルティ審査員

- ・審査員は、準決勝・決勝とも 5 名以内とする
- ・必要に応じて、審判員（フロアモニター）は 1 名以上とする

(3) 準決勝・決勝は次の通りとする

① 準決勝・決勝は次の通りとする

ア) 推薦枠数以内出場者の場合は決勝のみとする

イ) 推薦枠数を超える出場者の場合は準決勝を行い、

(フリースタイルソロ) 準決勝上位 8 位、

(フリースタイルペア) 準決勝上位 4 位、

(フリースタイルチーム) 準決勝上位 4 位までが決勝に進出する

② 東北支部代表として発表する

*実施要項・競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、実行委員会において
加除訂正を行うことができる

2. 順位、選考

(1) フリースタイルソロ

① 選考は次の通りとする

ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する

イ) 同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する

優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする

優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする

優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする

優先順 4 審査員の投票により決定する

② 東北支部代表として発表する

(2) フリースタイルペア

① 選考は次の通りとする

ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する

イ) 1 位が同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する

優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする

優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする

優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする

優先順 4 審査員の投票により決定する

② 東北支部代表として発表する

(3) フリースタイルチーム

① 選考は次の通りとする

ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する

イ) 1 位が同位になった場合のみ次の優先順に従って順位を決定する

優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする

優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする

優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする

優先順 4 審査員の投票により決定する

② 東北支部代表として発表する